

項目		短期計画 (平成26～30年度)	平成26～29年度 実績					評価	
			H26	H27	H28	H29(見込み)	合計		
(1) 下水道計画の推進	①新設管渠の整備	内容	街路築造や道路改修にあわせて管渠の新設・更新を行う。	築造925.2m 撤去378.3	築造514.0m 撤去84.9m	築造103.9m 撤去29.8m	築造195.4 撤去346.1m	築造1738.5 撤去839.1m	汚水処理の整備率は100%だが、都道の拡幅工事及び市道の築造・改修にあわせて整備を行った。今後も引き続き、管渠の新設・更新を行う。
		費用	250,000千円	108,799千円	37,519千円	21,434千円	84,464千円	252,216千円	
(1) 下水道計画の推進	②石神井川雨水幹線整備	内容	第3処理区から西東京市を經由して石神井川に雨水を排出するための幹線を整備する。	新設管築造工事の実施	新設管築造工事の実施	新設管築造工事等の実施 【新設管の竣工】 Φ250 16.6m Φ1800 13.2m Φ2200 10.2m Φ2600 435.5m Φ2400×2400 10.3m	支障物件の処理 家屋等の損失補償	【新設管】 Φ250 16.6m Φ1800 13.2m Φ2200 10.2m Φ2600 435.5m Φ2400×2400 10.3m	当初は平成28年度に完了予定だったが、関係機関との調整が整わず、切替工事等の残工事が遅れたため、平成31年度の完了を目指す。今後のスケジュールは、以下の通り。 【平成29～30年度】 切替工事等の設計(既設管からの切替・接続工事、既設管周囲空洞充填工事、既設管更生工事等) 【平成30～31年度】 上記設計に基づく切替工事等
		費用	1,895,000千円	283,598千円	343,081千円	644,616千円	21,664千円	1,292,959千円	
(2) 下水道の再構築	③管渠の再構築	内容	平成23年に策定した長寿命化計画に基づき、管渠の更生工事により延命化を図る。	女子大通り 管渠内面被覆工 184.3m	女子大通り 管渠内面被覆工 181.4m	女子大通り 管渠内面被覆工 95.6m	女子大通り 管渠内面被覆工 119.2m	女子大通り 管渠内面被覆工 580.5m (平成25年分含め695.0m)	平成29年度末で約87%完了予定。当初計画は平成25～29年度の予定だったが、天候等の影響や曲線部の施工により、想定より進捗率が上がらなかったため、平成30年度の完了を目指す。今後は平成31年度策定予定のストックマネジメント計画(改築計画含む)に基づき、平成32年度より引き続き計画的に管路の再構築を実施予定。
		費用	1,566,000千円	338,067千円	372,082千円	179,718千円	297,907千円	1,187,774千円	
(3) 浸水対策	④小中学校への雨水貯留浸透施設設置	内容	小中学校校庭に雨水貯留浸透施設を設置する。	二小設計	二小 500㎡ 六中設計	六中 400㎡ 千川小設計	千川小 400㎡ 二中設計	3校合計 1,300㎡	計画通りに設置している。学校や近隣の事情等に配慮し、平成30年度には設置を見送るが、平成33年度には全小中学校に設置完了予定。
		費用	271,000千円	5,215千円	69,025千円	66,865千円	92,000千円	233,105千円	
	⑤北町保育園雨水貯留浸透施設設置	内容	北町保育園園庭に雨水貯留施設を設置する。	北町一丁目 4,500㎡	市民向け情報配信システムの構築	—	—	北町一丁目 4,500㎡	4,500㎡の貯留槽の設置が完了し、平成27年度より稼働。平成29年度8月末までに2回流入。
(3) 浸水対策	⑥その他浸水対策	内容	—	—	北町四丁目(うさぎ山公園)調査	桜堤三丁目(市道135号線) 19㎡ 北町四丁目(うさぎ山公園) 99㎡	桜堤三丁目(市道135号線) 20㎡	桜堤三丁目(市道135号線) 39㎡ 北町四丁目(うさぎ山公園) 99㎡	計画にはなかったが、浸水被害のおそれがある地域の公園や道路下に雨水浸透施設を設置した。今後も引き続き、浸水被害のおそれがある地域への対策を検討する。
		費用	—	0千円	497千円	51,738千円	14,750千円	66,985千円	
(4) 下水道の耐震化	⑦マンホールの耐震化	内容	マンホールにおける管渠の継手部の耐震化を行う。	管渠継手部耐震化 67箇所	—	—	—	管渠継手部耐震化 67箇所	下水道総合地震対策計画に基づき平成24～26年度に186か所の耐震化を完了。今後は通常の管渠築造・更新等の中で原則として更生工法により管渠本体の耐震化を図る。
		費用	30,000千円	25,612千円	0千円	0千円	0千円	25,612千円	
(5) 下水道臭気対策	⑧下水道臭気対策	内容	吉祥寺駅周辺の古いビルピットの改善を支援する助成制度を運用する。	2件	3件	1件	10件	16件	当初は平成30年度に完了予定だったが、助成件数が伸びなかったため、平成29年度から助成金額を増額するとともに、完了予定年度を平成32年度に変更した(50万円→75万円)。
		費用	25,000千円	1,000千円	1,500千円	750千円	7,500千円	10,750千円	
(6) 広域的な汚水処理	⑨流域建設負担金	内容	都の水再生センターの保全・更新等に要した費用に対する負担金を支払う。	請求に基づく支払	請求に基づく支払	請求に基づく支払	請求に基づく支払	—	請求に基づき、落合・森ヶ崎・清瀬の各水再生センター建設負担金を支払っている。今後も引き続き請求に基づき支払う。
		費用	500,000千円	28,498千円	53,552千円	55,337千円	79,434千円	216,821千円	
	⑩井の頭ポンプ場に関する負担金	内容	—	請求に基づく支払	請求に基づく支払	請求に基づく支払	請求に基づく支払	—	計画にはなかったが、三鷹市との共同設置による井の頭ポンプ場の建設・改良工事等の費用(起償償還金含む)を、請求に基づき支払っている。今後も引き続き請求に基づき支払う。
(6) 広域的な汚水処理	⑪区部流入増補管渠整備	内容	善福寺川上幹線の能力を強化する増補管の築造を行う。	調査・設計	調査・設計・水位計設置工事	調査・設計・水位計設置工事	—	—	平成28年度に技術上の理由でこれ以上の工事が困難となったため、事業はいったん中止とし、新たな技術・工法の開発等を見据え、検討する。なお、合流改善施設からの自動返水を行うための水位計を設置した。
		費用	420,000千円	11,908千円	41,020千円	42,735千円	0千円	95,663千円	
(7) 合流改善対策	⑫放流水質調査	内容	合流改善対策により法的な水質基準を満たしているかを調査する。	BOD 15.5mg/ℓ	BOD 20.0mg/ℓ	BOD 21.9mg/ℓ	2月ごろ実施	—	計画通りに実施し、基準値の40mg/ℓを下回るとともに、分流式並みの20mg/ℓ前後の数値を記録している。今後も引き続き測定する。
		費用	15,000千円	2,592千円	2,700千円	2,700千円	2,980千円	10,972千円	
	⑬その他合流改善対策	内容	—	東町一丁目 8,500㎡(繰越)	合流改善施設 事後評価	—	—	東町一丁目 8,500㎡(繰越)	計画にはなかったが、東町一丁目合流改善施設を建設した。なお、合流改善機能の完成は平成25年度だが、外構等の完成は26年度であるため、事業費は平成26年度に支払っている。稼働開始は都との返水協議が整った平成27年度。平成29年8月末時点で151回流入。今後は引き続き施設の適切な運用を行う。
(8) 人件費・事務費	⑭人件費・事務費	内容	—	—	下水道法事業計画変更及び都計法事業計画認可変更申請図書作成業務委託(4,104千円)	—	下水道総合計画見直し業務委託(8,000千円)	—	上記①～⑬に該当しないものは全てこの項目に算入している。人件費は臭気対策の強化とともに微増傾向にある。事務費については、平成27年度に事業計画変更等に関する業務委託、平成29年度に下水道総合計画見直し業務委託を行った。
		費用	—	39,119千円	43,832千円	41,488千円	53,038千円	177,477千円	